



100億でゼネコンと勝負

○…米軍発注建設工事の制度について、超党派での勉強会を呼びかけた中川京貴県議（自民、中頭郡区）。県内の建設業者にとつては、受注相当額の履行保証（ポンド）が参入の壁になるが「ポンドの担保として沖繩振興予算や行政基金の活用ができないか。100億円程度あれば、県内業者がゼネコンと勝負できる」と力説。これまで県がポンドの軽減や分離・分割発注を要請してきたが「実現できなければ意味がない。今のシステムにどう対応するかが大事。結果を求めていく」ときっぱり。